

「京都を学ぶセミナー-南山城編」第5回（開催報告）

2019年9月11日
京都学・歴彩館
075-723-4835

2017年度から開始した「南山城の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【南山城編】」第5回を、下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2019年9月10日（火）13:30~15:00
- 会 場 京都学・歴彩館大ホール
- 参加者数 153名
- 内 容 講演 奈良女子大学非常勤講師 島津 良子
「緑茶製法」の誕生と普及

■ セミナーの様子と当日の参加者の声

我々は、毎日のように緑茶を飲む。急須を使って緑茶を入れるだけではなく、コンビニエンスストアに行けば、誰でもペットボトル入り緑茶を購入し、たやすく飲むことが出来る。現在、我々が普通に飲んでいる緑茶の製法が、いつ誰によって発明され、どのように日本中に広まったのであろうか。『嘉木歴覧』という書物からは、これまで考えられていた緑茶製法の広まりとは異なる様相を読み取ることが出来る。本セミナーでは、長年『嘉木歴覧』の調査に携わった講師が、調査の結果知り得た、緑茶製法の発明と列島への広がり の経緯について分かりやすく説明した。

参加者からは「宇治茶製法が生まれた頃の時代の様子がよく想像できました」「お茶にそんな複雑な歴史があったとは全く知りませんでした」など、驚きと再発見の喜びに満ちた感想が寄せられ、好評を博した。

